

授業改善推進プラン〈社会〉

西東京市立ひばりが丘中学校

1 指導目標

・広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考えることができる力を養う。
 ・我が国と世界の地理的な関係と世界の流れを背景にした我が国の歴史に対する理解を深め、公民としての基礎的教養を培うことによって、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 平成26年度 1学期における考察と課題

学年	考察	課題
1学年	基礎・基本的な学習内容について、意欲的に取り組もうとする姿勢がみられる。学習の習慣や方法について、身につけておらず、地理的分野と歴史的分野の興味関心に影響された取り組みの違いがみられる。	基礎・基本の学習をその取り組み方から習慣付けていくとともに、地理と歴史の関連性に気付かせ興味関心につなげる。
2学年	都の学力調査の結果、4観点すべて都の平均を超えている。基礎・基本的な学習内容は定着しつつあるが、一方で資料を読み取り、題意に即して課題を解決する力が他の観点と比べ弱い。	既習内容と関連させながら学習活動を進め、基本的な内容の定着を促していくとともに、グループでの話し合いや発表などの活動を通して社会的思考を高めることが課題である。
3学年	社会的な基本事項についてはよく努力して、身につけてきている。社会的思考についてはその基本事項を生かして、文章化する力が身につけていない。	社会的な基本事項を活用させ、社会的思考の能力を身につけさせることが課題である。
全学年	1、2年生には、社会科の基本用語や地図の見方など基礎的な学習がまだ身につけていない生徒が多い。3年生では社会的思考力が足りない生徒が多い。	引き続き3分野で地図、年表、図や統計資料を活用し、読み取る作業を増やし、それを表現する発表機会を増やし、思考力をつける。

3 平成26年度 2学期以降へ向けての改善のポイント

学年	改善のポイント
1学年	少しずつ視聴覚的ないろいろな機材を利用しながら、視覚的に教材を交えた授業を地理的分野、歴史的分野を中心に行うと同時に基礎・基本を徹底した授業の展開を図る。
2学年	地理的分野と歴史的分野につながりをもたせるとともに、基礎・基本を徹底した授業展開を図る。その中で、視聴覚教材の活用や言語活動を取り入れた授業展開の工夫を図り、学習への興味関心を高めさせる中で、社会的な思考力をつけさせるようにする。
3学年	歴史的分野では基礎・基本を徹底した授業の展開を図り、学習内容の定着を促す。公民的分野では、副教材やICTを活用するなどの工夫をして、生徒の興味関心を高め、言語活動を通して社会的思考を身につけさせていく。
全学年	地理的分野ならびに歴史的分野では、種々の様々な視聴覚教材を少しずつ利用し、視覚的な要素を交えた授業を展開させることにより、基礎・基本の定着を図る。公民的分野では、社会的思考力をつけさせるため、3学年に挙げた工夫を積極的に行っていく。

4 評価の工夫

観点	観点項目	評価内容
社会的事象への関心・意欲・態度	さまざまな社会的事象に関心を持ち、意欲的に表現できたか。	授業態度 発言点 レポートテスト 小テスト
社会的な思考・判断・表現	さまざまな社会的事象について、自分の考えを論理的にまとめ発表(表現)することができたか。	定期考査 レポートテスト 小テスト
資料活用の技能	資料を正確に読み取り、記録し、事実に基づいて記録することができたか。	定期考査 ノート 問題集 小テスト
社会的事象への知識・理解	学習した内容を整理し、基本的な知識を身に付けることができたか。	定期テスト 小テスト